



▲デイサービスフロアのテーブルの上にお雛様とお花を飾って華やかに♪

おぐら山荘便り

2020年4月1日(水)発行

桜餅を作りました♪ おぐら山荘の雛祭り



おぐら山荘では、季節を楽しむイベントを企画してご利用者の皆様と一緒に楽しんでいきます。今号は、お雛祭りにちなんで、おやつ作りで桜餅を作ったこと、スタッフ紹介、季節の壁飾りの話題などをお届けします。

3月のおやつ作りでは、お雛祭りにちなんで桜餅を作りました。昨年、もち米を使っ

た桜餅だったので、今年は、クレープ風の生地、関東風に挑戦です。

生地は、上新粉と小麦



▲上新粉と小麦粉、砂糖で生地を作ります。

粉や砂糖を混ぜて、食紅でピンク色に仕上げていきます。並行して、餡子を15グラムずつ測って丸める作業もしていただきます



▲食紅を入れるとみるみるピンク色に！

生地は、上新粉と小麦粉、砂糖で生地を作ります。生地ができたなら、ホットプレートに生地を流し、生地を焼いていきます。最初に使用したホットプレート調子がよくなく、急遽別なものを用意したり、焼き直したため、生地が足りなくな



▲調子よくやわらかな生地が焼きあがっていきます！

次々と生地が焼けてきました。皆様テキパキと餡子を包んで塩漬けの桜の葉を巻きつける作業をしてください。形を整えて…できあがりです！
一時はどうなるかと思いましたが、無事おやつ時間までに全員分の桜餅



▲お餅ひとつ分ごとにあんこを分けて…完成はもうすぐ！



なったりなどのハプニングのせいで、ご利用者様には待っていたたく時間が長かったのですが、皆さん状況を把握し、ゆっくりと作業ができるのを待つてくださいました。ホットプレートが使用できるようにになると、

おやつ時間に、雛祭りにちなんだ歌と一緒に歌い、甘酒と一緒に召し上がっていただきました。美味しいとの声も聞かれ、ささやかながら、素敵な雛祭りになりました。



エーA美の 介護の道を きわめる!?

第16回



● 職員インタビュー ●

おぐら山荘には やりがいがいっぱい!

中澤 舞 (なかざわ まい)

介護の仕事に 始めたきっかけ

小さい頃からおじいちゃんの家遊びに行っていました。とてもおじいちゃんが大好きで、一緒に散歩をしたり、いろいろなことを教えてくれたりしてくれていました。そのこともあり、将来、年配の方と関わる仕事がしたいと思っていました。

おぐら山荘を 選んだ決めて

当初は看護師を目指していたのですが、ま

だ資格が取れておらず、介護をしながらいろいろ情報を吸収したいと考え、役立てていきたいと思い、就職先として介護職を選びました。

実際に 働いて思ったこと

ちょっとしたことですが、『ありがとう』という言葉が言ってももらえることがあり、そ



のことがとても嬉しかったです。

今後、ご利用者様のお世話ができるように、いろいろな資格をとれるように勉強していきたいと思います。

春らんまん 3月の壁飾りです!



桜満開

▲見ているだけで春の光が満ちてくるよう・・・♪



今月の大型の壁画は桜の開花をモチーフにして制作しました。桜の花にポリウムをだすため、お花紙で作った花と一緒に貼りこみました。木の部分は、単調にならないように、いろいろな色を混ぜこみながら、一枚一枚千切った色紙を貼りこんでいきます。先月の梅に引き続き、細かい作業が続きましたが、最後まで頑張ってくださいました。

おぐら山荘
TEL 0977-85-8307

〒874-0840
大分県別府市大字鶴見 1561 番の2
URL <http://ogura.link/>



部屋の入口には、卵型のお内裏様とお雛様をいろいろな千代紙で着物を着せ、可愛らしく仕上げました。ただ今、来月の部屋飾りを制作中。いろいろなパターンの春の花が登場しますので、楽しみにしていってくださいね。